

外部評価結果報告書

2026(令和8)年 8月

伊賀市総合計画審議会

目次

1. はじめに	1
2. 評価の実施手法	2
(1) 評価対象	2
(2) 評価の流れ	2
(3) 評価のスケジュール	2
3. 外部評価の実施	3
(1) 外部評価の視点	3
(2) 外部評価区分	3
4. 外部評価結果	4
(1) 外部評価結果一覧	4
(2) 分野ごとの外部評価結果	6
分野1. いのちをまもる	6
分野2. くらしをささえる	9
分野3. ひとをはぐくむ	21
分野4. にぎわいをつくる	30
5. おわりに	36

1. はじめに

2025(令和7)年9月に策定された「第3次伊賀市総合計画」について、当審議会は今回、初年度となる外部評価を行いました。これは、伊賀市総合計画審議会条例第2条第1項に基づき、2025(令和7)年度に実施した30施策を対象に、担当部局から直接ヒアリングを実施した16施策と書面のみで実施した14施策の2つの手法で外部評価を実施したものです。

外部評価は、行政で実施する内部評価に、有識者及び市民等の視点を入れることで、評価の客観性及び信頼性を確保するとともに、課題に対する改善策が適切に分析されているかを検証することで、効果的かつ効率的に施策を推進していただくことを目的としています。

このたび、検証結果を外部評価報告書として取りまとめましたので報告します。

伊賀市総合計画審議会 委員

区分	氏名	所属	備考
学識経験を有する者 (1号委員)	岩崎 恭彦	三重大学	会長
	久 隆浩	近畿大学	
	オチャンテ 村井 ロサ メルセデス	桃山学院大学	
	片桐 新之介	合同会社C. SSSコーポ レーション	
	朴 恵淑	三重県地球温暖化防止 活動推進センター	
市民からの公募による者 (2号委員)	奥井 公子		
	成底 正好		
	山本 いずみ		
公共的団体等を代表する者 (3号委員)	松山 彰宏	伊賀市消防団	
	奥西 利江	社会福祉法人 維雅幸 育会	
	荒井 恵美子	男女共同参画ネットワ ーク会議	
	市川 寛	伊賀市地域公共交通活 性化再生協議会	
その他市長が必要と認める者 (4号委員)	加納 圭子		副会長
	来光 美希		

2. 評価の実施手法

(1) 評価対象

第3次伊賀市総合計画に位置付けられた 30 施策および各施策に紐づく基本事業

将来像																														「すべてのひとが輝く 地域が輝く ～みんなで話そう 伊賀市の未来～」の実現																																			
みんなのテーマ	こどもが育つ、大人も育つ															(1) すべてのこども、すべての人の権利を保障する (2) 多様な人材が活躍できる (3) 生涯を通じ、学びや学び直しができる (4) 様々な分野の担い手づくりを進める																																																	
	持続可能なまちを未来に引き継ぐ															(1) 土地や資源を有効に活用し、災害や危機に備える (2) 「まち」と「むら」が共生する (3) 地域経済の好循環を生み出す (4) 新しい流れを力にする																																																	
	つながりを結び直す															(1) 自治における「公共」のあり方を見直す (2) 対話の場を広げ、市民参画を促進する (3) 地域力を高め、地域の課題を解決する (4) 内外の多様な主体と協働する																																																	
分野	いのちをまもる			くらしをささえる												ひとをはぐくむ								にぎわいをつくる																																									
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																			
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-9	2-10	2-11	2-12	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-9	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6																																			
キーワード	防災・危機	消防・救急	医療	共生社会	健康	スポーツ	高齢者福祉	障がい者福祉	環境	廃棄物	上下水道	都市政策	住宅	公共交通	防犯・交通安全	こども	人権・平和	同和	学校教育	生涯学習	文化・芸術	歴史・文化遺産	住民自治・市民活動	多文化共生	地域経済	農業・林業	都市拠点	商工・労働	観光	関係人口																																			
基本事業	防災	危機管理	消防	救急	地域医療	共助	相談	健康	健康保険	スポーツ活動	保健・介護予防	認知症	高齢者福祉サービス	介護保険サービス	障がい者相談	障害福祉サービス	環境保全	生活環境	ごみ処理	上水道	下水道	都市計画	景観・公園	道路・河川	耐震化	市営住宅	空き家	交通デザイン	バス	鉄道網	伊賀線	交通安全	消費者保護	児童教育・保育	幼児教育・保育	人権啓発	非核平和	男女共同参画	同和	学校教育	教育環境	社会教育	青少年健全育成	図書館	文化・芸術	芭蕉翁顕彰	文化財・歴史資料	歴史まちづくり	住民自治	市民活動	多文化共生	産業振興	公共調達のあり方	農業	農村整備	森林資源	市街地の活性化	都市機能の集約	にぎわい創造者回廊	商業立地	起業・雇用・労働	観光誘客・情報発信	観光客の受け入れ	地域創生	移住
計画の推進																																																																	

(2) 評価の流れ

- ①各施策担当部局による内部評価(施策評価シートの作成)
- ②総合計画審議会による評価(施策評価シートによる評価)
- ③外部評価を踏まえ、次年度取組などへの反映

(3) 評価のスケジュール

2026(令和8)年4月～5月頃

7月2日・3日

7月7日

7月17日

8月4日

内部評価(各部局において施策評価シートの作成)

外部評価(令和8年度第1回伊賀市総合計画審議会)

外部評価(令和8年度第2回伊賀市総合計画審議会)

外部評価まとめ

(令和8年度第3回伊賀市総合計画審議会)

外部評価答申

(外部評価報告書)

3. 外部評価の実施

各部局の内部評価が適切に実施されているかについて、外部の視点から評価を行う。

(1) 外部評価の視点

総合計画審議会による外部評価は、以下の3つの視点により評価を行う。

① 効果検証の適正性

- ・施策評価シート(内部評価)の効果検証(CHECK)の内容は適正か
- ・使用している KPI は施策の成果(各基本事業のめざす姿)を適切に表しているか

② 事務事業改善案の妥当性

- ・施策評価シート(内部評価)の事務事業改善案(ACTION)の内容は妥当か

③ 施策の進捗状況

- ・施策評価シート(内部評価)の基本事業の進捗の内容は妥当か

(2) 外部評価区分

① 効果検証の適正性

A	適切である
B	一部見直しの必要あり
C	見直しの必要あり

② 事務事業改善案の妥当性

A	適切である
B	一部見直しの必要あり
C	見直しの必要あり

③ 施策の進捗状況

A	良い(順調)
B	やや良い(概ね順調)
C	やや悪い(やや進捗が悪い)
D	悪い(進捗が悪い)

4. 外部評価結果

(1)外部評価結果一覧

施 策	外部評価		
	(1)効果検証の適正性	(2)事務事業改善案の妥当性	(3)施策の進捗状況
めざす姿			

分野1. いのちをまもる

1-1 防災・危機	B	B	B
災害などの危機に強くなる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
1-2 消防・救急	B	B	B
火災や急病などで人命が失われない	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
1-3 医療	A	B	A
身近なところで医療を受けることができる	適切である	一部見直しの必要あり	良い(順調)

分野2. 暮らしをささえる

2-1 共生社会	A	B	B
助け合いや支えあいにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる	適切である	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-2 健康	B	B	B
生涯を通じ、健康に暮らすことができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-3 スポーツ	B	B	B
気軽にスポーツを楽しむことができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-4 高齢者福祉	B	B	B
高齢者が、生きがいを持って暮らすことができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-5 障がい者福祉	A	B	A
障がい者が、自分らしく暮らすことができる	適切である	一部見直しの必要あり	良い(順調)
2-6 環境	B	B	B
豊かな自然環境を守り、次代へ引き継ぐ	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-7 廃棄物	C	C	B
ごみ減量化やリサイクルが定着し、循環型社会が構築されている	見直しの必要あり	見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-8 上下水道	B	B	A
安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	良い(順調)
2-9 都市政策	B	B	B
適正な土地利用や移動しやすい道路ネットワークによりまちの魅力を高める	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
2-10 住宅	B	B	C
だれもが安心して住むことができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや悪い(やや進捗が悪い)
2-11 公共交通	A	A	B
身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	適切である	適切である	やや良い(概ね順調)
2-12 防犯・交通安全	B	B	B
犯罪や事故のないまちで安全に暮らせる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)

施 策	外部評価		
めざす姿	(1)効果検証の適正性	(2)事務事業改善案の妥当性	(3)施策の進捗状況

分野3. ひとをはぐくむ

3-1 こども	B	B	B
こどもを安心して産み、育てることができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
3-2 人権・平和	B	B	B
あらゆる差別が解消され、お互いの人権が尊重される	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
3-3 同和	A	A	A
一人ひとりが部落差別と向き合い、差別が解消されている	適切である	適切である	良い(順調)
3-4 学校教育	B	B	B
こどもたちが、未来に夢や希望を持つことができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
3-5 生涯学習	B	B	C
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍することができる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや悪い(やや進展が悪い)
3-6 文化・芸術	B	C	C
文化の力で「ひと」と「まち」を育む	一部見直しの必要あり	見直しの必要あり	やや悪い(やや進展が悪い)
3-7 歴史・文化遺産	B	B	B
歴史や文化遺産を未来へと引き継ぐ	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
3-8 住民自治・市民活動	B	B	B
住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われている	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
3-9 多文化共生	B	B	B
国籍や文化の違いを認め共生する	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)

分野4. にぎわいをつくる

4-1 地域経済	B	B	C
地域で循環する経済をつくる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや悪い(やや進捗が悪い)
4-2 農業・林業	B	B	B
人と自然が共生し、農林業を元気にする	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
4-3 都市拠点	B	B	B
持続可能で魅力あふれる拠点をつくる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
4-4 商工・労働	B	B	B
地域の特性を活かし、商工業活動を盛んにする	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
4-5 観光	B	B	B
観光客と地域住民が共に地域の資源に魅力を感じ、大切にしている	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)
4-6 関係人口	B	B	B
若者や移住者に選ばれる	一部見直しの必要あり	一部見直しの必要あり	やや良い(概ね順調)

(2)分野ごとの外部評価結果

分野1. いのちをまもる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	1-1	防災・危機	所管部局
			防災危機対策局
めざす姿	災害などの危機に強くなる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	防災		地域防災力の強化
基本事業	危機管理		災害やあらゆる危機に対する対応力強化
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「防災」が市民向け、基本事業②「危機管理」が職員向けであるため、地域の防災意識が効果検証できる指標を検討してほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	・研修を事業の中心とするのであれば、研修内容を豊富にすることを進めてほしい。 ・課題を踏まえた改善の方向性は適切だが、地域防災力向上につながる具体的な取組が必要である。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	自主防災組織や関係機関との連携を図りながら、防災体制の強化は概ね順調に進められている。今後は、防災訓練への参加促進や地域住民の防災意識向上につながる取組を継続してほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・PLANとDOに記載のある事項については、ある程度網羅的にCHECKおよびACTIONに内部評価結果を記載するようにしてほしい。 ・基本事業②「危機管理」について、災害時の情報伝達や資機材の整備は市民の命を守る重要なことであるため、効果検証する仕組みを整えてほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
自主防災組織や地域住民、関係機関との連携をさらに強化するとともに、要配慮者への支援や避難体制の充実、実践的な防災訓練の実施など、地域の実情に応じた防災対策を継続的に推進してほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野1. いのちをまもる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	1-2	消防・救急	所管部局
			消防本部
めざす姿	火災や急病などで人命が失われない		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	消防		持続可能な消防体制を構築します
基本事業	救急		安心できる救急体制を構築します
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の 適正性	B	一部見直しの必要あり	効果検証と事務事業改善案の記載内容にずれがある。
(2)事務事業 改善案の 妥当性	B	一部見直しの必要あり	・課題に対し、さらに厳しい改善等、取組を明記してほしい。 ・基本事業①「消防」の効果検証「重大な違反の是正」について、具体的な対応を明記してほしい。
(3)施策の 進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	計画どおり進めているが、成果指標の進展度が低い。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・効果検証が多岐にわたりすぎており、改善策とのつながりが捉えにくい。 ・火災件数の増加が最も気になるため、対応をしっかりと記載してほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・消防団の加入率の改善に関して、第4次消防団活性化計画でDXの取組について示してほしい。 ・公共施設など優先度の高いものへの立入検査や自主点検の導入など工夫されてはどうか。 ・日勤救急隊の運用が効果的に実施されることを期待する。 ・名張市との補完体制による連携をさらに強化することで、成果が増すことを期待する。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野1. いのちをまもる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	1-3 医療		所管部局
			健康福祉部
めざす姿	身近なところで医療をうけることができる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	地域医療		・地域包括ケアシステムの構築を図り、地域医療を推進します ・一次救急・二次救急医療体制の維持・確保を図ります
基本事業	上野総合市民病院		患者や市民が安心して信頼できる医療の提供に努めます
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の 適正性	A	適切である	
(2)事務事業 改善案の 妥当性	B	一部見直しの必要あり	・「新たな課題」として挙げられている2点(救急医療の維持と周産期医療の体制)について、「課題」としての表現が不足している。 ・課題に対する具体的な改善策が記載されていない。
(3)施策の 進捗状況	A	良い(順調)	
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業①「地域医療」のめざす姿「地域包括ケアシステムの構築」に繋がる連携検討会についての検証が読み取れない。 ・基本事業②「上野総合市民病院」のめざす姿「患者や市民が安心して信頼できる医療の提供」の検証が在宅復帰率だけでは不十分である。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・めざす姿である「身近なところで医療をうけることができる」を実現するためには、医療送迎、かかりつけ医の確保、オンライン診療等の取組が必要である。 ・まちづくりアンケートの結果、医療は重要度1位の施策であり、市民から最も高い関心が寄せられている。医師や看護師などの医療従事者の確保・定着について、現に工夫していることや、今後強化することについてCHECK欄やACTION欄に具体的な記載が必要ではないか。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-1 共生社会		所管部局
			健康福祉部
めざす姿	助け合いや支えあいにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	共助	誰もが笑顔でいきいきといつまでも暮らせるように、支え合いやつながりが充実したまちをめざします	
基本事業	相談	住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援します	
基本事業	つながり・社会参加	相談者が抱える課題を多機関が連携して重層的支援を行い、相談者に対して伴走支援を実施します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	A	適切である	
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「共助」、基本事業③「つながり・社会参加」の「新たな課題」に対する具体的な改善案が読み取れない。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	地域による温度差が感じられる。市域全体での共生社会づくりへステップアップする必要がある。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項 基本事業②「相談」の課題については、担当部局が職員の専門性向上や対応、関係機関との連携について重要な課題と記載されていることから、もう少し具体的な改善策に繋げるため、職員の対応にどんな課題があるのか、職員のスキルアップだけでなく体制的な問題はないか、スムーズに連携できない理由は何なのかなど、深掘りすることが必要である。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等 ・めざす姿について、追いかけられない姿になっていないか検証が必要である。 ・まちづくりアンケートの結果から、共生社会への市民の関心が低いと読み取れるが、将来の福祉ニーズ増大に備えた専門性の向上や、関係機関との連携を今のうちから強固にしておく必要がある。 ・複雑化した生活課題に対応できるよう、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮者をまとめて相談できるワンストップ窓口の支援の質の向上および、その担い手のさらなる育成強化が必要である。 ・基本事業②「相談」のKPIで関係機関や地域との連携率が掲げられているが、何をどう連携したのか、取組を市の中で共有してほしい。連携が円滑に進んでいるかまで踏み込み、様々な部局の作業効率化につなげてほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-2 健康		所管部局 健康福祉部
めざす姿	生涯を通じ、健康に暮らすことができる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	健康	生涯を通じ、健康に暮らすことができる身体をつくりま す	
基本事業	健康保険	社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的と して国民健康保険事業の健全な運営を確保します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の 適正性	B	一部見直しの必要あり	内部評価として効果検証は良くできている。施策レベルで「め ざす姿」に対してどのような成果が出たのか簡潔に記述して ほしい。
(2)事務事業 改善案の 妥当性	B	一部見直しの必要あり	・絞った課題に対し、要点を明確にした改善案を提示していた だきたい。 ・国民健康保険対象者に対する受診勧奨については、要因の 実態把握と効果的な改善策を検討するよう見直してほしい。
(3)施策の 進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	一定の成果は認められるが、特定健診受診率についての施 策は、今後数値が上昇するよう対策を進めてほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・対面での質疑で、事業実施の分析がよくできていることが分かった。 ・効果検証の際、具体的な数値での評価が欲しい。 ・事業レベルの検証に終わらず、施策としての検証が必要である。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・受診率の伸びない原因について、単純に周知が足りないのか、受診する際の手順に課題があるのかでアプロー チが変わってくるため、実際に行った取組の効果検証や課題の深掘りをしてほしい。 ・健康寿命を延ばす取組の一つである健康マイレージは、老若男女が気軽に取り組み、長期的には医療費軽減に つながるため、更なる広がりを期待している。 ・企業や商工会議所といった、市民の職場となる団体との連携による健康についての行動変容に取り組むことが 効果的だと思う。ライフステージにより健康支援の切れ目があるように思う。一連のライフコースとなるよう、様々な 連携をお願いしたい。 ・若年層の健診率向上には商工会議所等の協力が重要ではないか。 ・地域との連携には、支所ごとに保健師を配置するなど、支所機能の充実も必要ではないか ・健康には、身体健康と心の健康の2つがあり、高齢者の心の健康には、地域とのつながり、相談できる相手が 身近にいるなど、孤独の防止、出歩くことによる会話の量などが大切だと考える(フレイル予防)。今後その観点か らの施策の実施も期待したい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-3		

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-4 高齢者福祉		所管部局
			健康福祉部
めざす姿	高齢者が、生きがいを持って暮らすことができる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	保健・介護予防	高齢者が要介護状態になることを予防し、健康寿命の延伸をめざします	
基本事業	認知症	認知症があっても自分らしく暮らすことができるよう、安心して過ごせる場所作りや、正しい知識の普及啓発を進めます	
基本事業	高齢者福祉サービス	高齢者やその家族のニーズに応じたきめ細かい支援に向けて事業の充実と利用促進を図ります	
基本事業	介護保険サービス	介護人材を確保し、持続可能な介護保険制度を維持します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	多くの記載があるが、事業内容ごとにまんべんなく記載する必要はなく、アピールできる効果があったもの、深刻な課題であるものに絞って記載してほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	できないところを援助するだけでなく、どう暮らしたいかを聞き取り、支援してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	「めざす姿」が「生きがいを持って暮らすことができる」となっているので社会参加等の側面からの評価も必要で、福祉施策以外の評価も重要である。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業③「高齢者福祉サービス」のKPI「成年後見制度の利用申立て件数」が変動していることについて検証し、課題抽出した対策を改善案に挙げるべきではないか。効果検証に書かれている内容が事実ならば、ACTION欄で変動が大きいという記載は避けた方がよい。 ・基本事業①「保健・介護予防」②「認知症」については、より具体的な改善案を提示してほしい。③「高齢者福祉サービス」④「介護保険サービス」については、課題がないのであれば改善案の記入は不要である。計画通りに進めることで問題はない。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・今後は、国が推奨するケアプランデータ連携システムの導入支援や、ICT活用による業務負担軽減など、介護現場の生産性向上に資する取組を追加するなど、めざす姿にある持続可能性も担保してほしい。 ・既資格保持者が居宅介護支援の介護支援専門員として就業しない理由や、現に居宅の介護支援専門員として就業している人の事業継続についての問題に寄り添っていただけると、より効果的な確保・定着支援に繋がるのではないかな。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-5 障がい者福祉		所管部局
			健康福祉部
めざす姿	障がい者が、自分らしく暮らすことができる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	障がい者相談	地域で自立した日常生活や生き生きとした社会生活を送ります	
基本事業	障害福祉サービス	障がいのある人が地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、必要なサービスの充実に努めます	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	A	適切である	
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	障がい分野における相談件数が増加していることに対し、支援の在り方を再検討する必要がある。相談での聞き方として、「どう暮らしたいか」を聞き取る必要がある。
(3)施策の進捗状況	A	良い(順調)	
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業②「障害福祉サービス」において、現場の人手不足による利用待機の発生や老障介護の深刻化という極めて切迫した課題が提示されているが、事務事業改善案(ACTION)の中で「移動支援従業者(ガイドヘルパー)養成研修」が特出しで記載されており、解決策としてのスケール感や優先順位などからつながりが見えにくくなっている。 ・基本事業②「障害福祉サービス」の新たな課題である「人材の定着(離職防止)」や「待機解消のための供給力強化」、「老障介護への具体的支援」に直結する、より実効性の高いアクションに絞って記載するなど見直す余地がある。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・「自分らしく暮らす」という観点での取組が、事務事業改善案(ACTION)から読み取れない。 ・相談が主な取組となっているが、住まいや移動、医療との連携についての検討を望む。 ・めざす姿に「自分らしく暮らすことができる」とあるため、就労や社会参加、学習参加といった総合的な生活評価が必要である。 ・障がい者相談と障害福祉サービスによってめざす姿を追求しているが、それだけにとどまてはいけない。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-6 環境		所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	豊かな自然環境を守り、次代へ引き継ぐ		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	環境保全	地域資源を有効活用した地域活性化、レジリエンス強化等を目指します	
基本事業	生活環境	市民の良好な生活環境を維持します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	・自然豊かな伊賀市ならではの野心的な目標設定をしてほしい。 ・基本事業②「生活環境」で多面的な指標の設定をしてほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	再エネ促進や環境との調和、太陽光パネルの廃パネル処理リサイクルについて、市としての考え方の発信について読み取れない。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	横ぐしを通した評価をしてほしい。例えば、環境関連施策については、環境分野の担当部局が所管部局となり、関係部局と連携して推進してほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業①「環境保全」の事務事業改善案(ACTION)で、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の周知啓発について記載してほしい。 ・温暖化対策の適応策については、まだ具体的な事業まで進んでいないかと考えるが、どうやって適応するかという考え方を市民の皆さんに共有することから始めてほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・温室効果ガスの削減目標について、国の目標は2030年度に2013年度比46%減だが、三重県では47%減のため、県の目標に合わせた取組を望む。 ・温室効果ガスの削減について、緩和策に加え、熱中症対策など、人間に対する適応策についても、条例制定などによる積極的な取組を望む。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-7 廃棄物		所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	ごみ減量化やリサイクルが定着し、循環型社会が構築されている		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	ごみ処理		持続可能なごみ処理体制を維持するため、ごみ処理コストの低減や不法投棄の防止に努めます
基本事業	し尿処理		生活排水を適正に処理します
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	C	見直しの必要あり	・効果について、内部評価の記載内容が事業実施内容に留まっているため、成果までの記載が必要である。 ・口頭での回答があったように、認識している課題(ダウンロードアプリの利用率の把握／ごみ減量と分別に関する市民周知方法の充実)を記載すること。 ・効果検証に「循環型社会の構築」に向けた内部評価を追加するべき。
(2)事務事業改善案の妥当性	C	見直しの必要あり	口頭での回答があったように、認識している課題(ダウンロードアプリの利用率の把握／ごみ減量と分別に関する市民周知方法の充実／循環型社会の構築に向けた課題)に対する改善策(ACTION)を記載すること。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	ごみ処理、し尿処理等の事業実施内容は適切であるが、循環型社会への進捗を含めた施策進行管理を期待する。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・内部評価が十分でない。 ・循環型社会の構築に向けた進捗を見極める数字が示されていない。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・満足度が低い現実から、成果自体の検証が必要である。 ・市民への啓発について、ごみの減量によるメリットを分かりやすく示し、市民もできることを市民全体で取り組む意識付けを期待する。 ・市民が廃棄物処理やリサイクルについて身近に感じられる取組があれば良いのではないかな。 ・ごみアプリの月間アクセス数や、その後市民がごみ処理活動をどう進めているかについて把握してほしい。 ・民間委託については、5年後に想定業者の経営が持続しているとは限らないため、早々に決断を出すべきではないかな。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-8 上下水道		所管部局
			上下水道部
めざす姿	安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	上水道		安全で持続的な水道水の供給を行います
基本事業	下水道		汚水処理人口普及率の向上を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	具体的にどのような効果があったのかが分かる記述をしてほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	・効果検証に対応する課題解決が把握しづらい。 ・経営に関する取組の方向性が読み取れない。
(3)施策の進捗状況	A	やや良い(順調)	
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・「安定した経営ができているか」と「老朽化問題にどう早急に対応できるか」に絞り、特に効果が出た点を記載すれば分かりやすいシートになると考える。 ・基本事業②「下水道」について、集落排水処理区の統廃合については、処理場の費用が軽減され安定した運営に寄与していると考えられるため、その部分を成果として書いてはどうか。 ・「有収率」は経営者側の視点であり、市民目線では「漏水ゼロ」などの方が伝わりやすい。 ・公共下水道や集落排水については、市が責任を持って処理し水質改善に努めるが、地域住民による個別浄化によっても水質改善を図ることが重要である。そのことが分かるよう記載してほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・命に係わるライフラインであるため、長期的視点に立ち、老朽化や漏水対策等、水源確保と安全な供給に取り組んでほしい。 ・まちづくりアンケートで満足度1位、重要度2位であるため、漏水のような課題をもう少し分かりやすく共有してほしい。 ・処理施設の統廃合という大きな課題を具体的にどう進めるか、取組を明確にしてほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報				
施 策	2-9	都市政策		所管部局
				建設部
めざす姿	適正な土地利用や移動しやすい道路ネットワークによりまちの魅力を高める			
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿	
基本事業	都市計画		高密度で効率的なコンパクトなまちづくりと公共交通等が組み合わされた、将来的に持続可能な多核連携型の都市構造をめざします	
基本事業	景観・公園		景観に関する市民意識の高揚を図ります	
基本事業	道路・河川		安全・安心な道路ネットワークの確保を行い、災害に強いまちづくりを進めます	
2. 外部評価結果				
評価のポイント	評価		理由	
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	成果指標やアンケートを活用した評価は適切に行われているが、市民が効果を実感できるよう、効果をより具体的に示す工夫が必要である。	
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	長寿命化修繕など既存業務の継続に留まらず、アンケートで約3割が「景観が悪くなった」と回答したことに対し、生活者の視点に立った具体的なアプローチが見えにくい。	
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	概ね計画通り進行しているが、橋梁の修繕率など一部で遅れがみられる。国や県への要望活動も含め、市として着実な進行管理を望む。	
3. 意見及び提案				
■内部評価への指摘事項				
・目標値の変更にあたっては、市民や事業者の実態に寄り添った要因分析が求められる。市として主体的にどのようなサポートができるか、具体的な打ち手の設定に期待する。 ・基本事業③「道路・河川」Ⅰ橋梁の修繕率に対する事務事業改善案で「橋梁の集約や撤去に向け地域との協議を進めていきます。」とあるが、時間を要すると思われる。また同じ改善案で「橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、効果的なメンテナンスを行っていきます。」とも記載されているが、集約や撤去が決まっていないが撤去の可能性のある橋梁は長寿命化修繕工事を進めていくのか。 ・市内の全橋梁のうち修繕が必要な橋梁の割合を記載してもらえると状況がよく理解できる。				
■施策や事業に対する意見・アドバイス等				
・拠点整備や空き家対策と連携し、居住誘導区域への移住や景観保全を兼ねた古民家再生など、部局を超えた情報共有を図ることでより効果的なまちづくりが期待できる。 ・民間活力の活用も含め、横断的な取り組みの検討を望む。				

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-10 住宅		所管部局
			建設部
めざす姿	だれもが安心して住むことができる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	耐震化		南海トラフ等の大規模地震に備え、木造住宅等の耐震化を推し進めます
基本事業	市営住宅		市営住宅の効率的かつ円滑な更新をめざします
基本事業	空き家		住環境の安全性の確保や街並みや景観の保全、不動産価値の維持・向上、地方創生や地域経済の活性化等地域社会の維持、活性化に向けて取り組みます
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	成果指標の達成度について、基本事業②「市営住宅」が「◎」、③「空き家」Ⅱが「○」となっているが、数値を見る限り、そのように評価し難いため、CHECK欄で丁寧な説明が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	空き家対策の進捗が遅れていることに対する、事務事業案の見直しを、ACTION欄から読み取れない。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	基本事業③「空き家」のKPI「空き家バンクへの登録家屋数のうち契約が成立した件数」について、目標の達成が困難であるように思われる。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業①「耐震化」成果指標のKPIで補助制度による耐震化戸数の累計がR10で18件となっているが、18件とした根拠を記載していただけると理解しやすい。また、市内の建物全数における耐震化率はどの程度なのか、耐震化の進捗が明確でないように感じる。 ・基本事業③「空き家」成果指標ⅠとⅡについて、KPIの目標値が2025年度までの進捗に比べ高い累積目標値と思われるが、達成できる見込みがあって設定しているのか。 ・Ⅱについては進展度「○」となっているが、R10年の380件に対し15%の進展であるが、順調に進捗しているとの認識でよいのか。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・計画どおりに進まない部分については現状を素直に受け止め、市民の抱えるハードル(費用や手続き等)をどう下げるかの視点で見直しを期待する。 ・商工団体やまちづくり会社と情報交換を行い、居住用だけでなくサテライトオフィスや起業用店舗として活用する道を探ってみてはどうか。移住定住と地域経済の活性化が結びつく実質的な仕組みづくりを期待する。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-11 公共交通		所管部局
			地域力創造部
めざす姿	身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	交通デザイン		総合的な公共交通ネットワークを形成します
基本事業	バス		持続可能なバス交通の運行体系を構築します
基本事業	鉄道網		交通ネットワークの基幹軸である鉄道路線を維持します
基本事業	伊賀線		伊賀鉄道の安定した運営を継続します
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の 適正性	A	適切である	
(2)事務事業 改善案の 妥当性	A	適切である	
(3)施策の 進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・KPIで達成してるものは見直してほしい。 ・協議会等での取組は読み取れるが、根幹の部分がどのように取り組まれているのかが読み取りにくい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・交通系ICカードの利用率は、相互乗り入れを図るための1つの指標として設定するなら理解できるが、総合的な公共交通ネットワークの形成のためのKPIとしては、各段階でどのように進めばネットワーク形成にたどり着くかが分かるよう、多段階に指標を設定するとよい。 ・効果検証は再考の余地があるが、対面で何うと、KPIの柔軟な見直しを計画されていると確認できた。 ・効果検証(CHECK)に対する、事務事業案(ACTION)が、解決案ではなく方向性が示されている。中長期的な大きな課題だが、期間等の具体的なことを記載してほしい。その都度改善を図られていることについては評価できる。 ・他の施策ではKPIを上方修正して提出しているものもあったため、公共交通でもそうしていただくべきだったかと思う。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・行政バス利用者は年々減少していくと考えられるため、利用者数以外の指標を測り、公共交通の仕組みの再構築を意識して取組を進める必要がある。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野2. くらしをささえる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	2-12	防犯・交通安全	所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	犯罪や事故のないまちで安全に暮らせる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	防犯・消費者保護		市民の防犯意識、消費者意識の向上により、被害を未然に防ぎます
基本事業	交通安全		市民の交通安全意識が高揚し、交通マナーを守り、市内における事故件数の減少を図ります
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	刑法犯認知件数の増加要因の分析は丁寧に行われているが、市民の体感治安や巧妙化する特殊詐欺の実態など、より生活実感に近い部分での分析を深めていただけるとさらに説得力が増すと考える。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	成果指標の進展度が「×」のものもあり、具体的にどのような手法でターゲット(高齢者等)に情報を届けるか、戦略的な事務事業の改善案を示してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	啓発活動は着実に進められているが、犯罪件数増加の現実を踏まえ、「実被害の抑止」に向けた関係機関との連携強化を望む。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業②「交通安全」について、新たな課題として「自転車の安全・安心な利用を図るため…」周知徹底するとしているが、ハード面の取組として自転車安全に走行できる、自転車走行帯や歩道などの整備は進められているか。またヘルメット購入の助成制度などにより、着用の促進を図るなどの検討はされたか。道路設備など担当部署が異なる場合にどのように連携しているか。警察などとの連携もされていると考えられるため、記載されるとよい。 ・両基本事業ともに、KPIで件数を前年度比5%づつ減らすとしているが、5%の根拠が不明である。 ・人身事故件数については既に目標を達成しているため、指標を見直し、再設定してもよい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・地区市民センターや住民自治協議会を拠点とした高齢者の見守り支援、外国人住民向けの多言語啓発など、関係部署や地域と連携した防犯の枠組みづくりを推進を期待する。 ・地域コミュニティ全体で支え合う実質的な仕組みに発展することを望む。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-1	こども	所管部局
			健康福祉部
めざす姿	こどもを安心して産み、育てることができる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	こどもの権利		こどもと保護者がともに成長し、子育てを通して喜びや幸せを得られる環境づくりを進めます
基本事業	育ち支援		安心してこどもを産み子育てができるよう、切れ目のない支援体制を整えます
基本事業	幼児教育・保育		質の高い持続可能な幼児教育・保育を提供し、就学前の子育てを支援します
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	「こどもの権利」の理解促進や「自己肯定感の向上」など、効果が見えにくい取組については、実際に市民やこどもにどのような変化があったかを意識して検証することが重要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	基本事業「②育ち支援」に関して、成果指標の進捗度が「△あまり進まなかった」となるにもかかわらず、基本事業の進捗が「○計画どおり進めている」となっており、ACTIONは「計画どおり通り進めます」としか記載がない。計画どおり進めていると分かるよう記載してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・まちづくりアンケート調査結果から「20代以下」と「30～40代」の子育て世代の満足度が低い結果となっているものを市として受け止め、施策の見直し改善へとつなげてほしい。 ・「計画どおり」となっているが、ニーズの変化等、新たな課題に対応する取組が必要である。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
基本事業「②育ち支援」の基本事業が個別的には「こどもの育ち支援課」「こども政策課」「子育て支援室」「保険年金課」の4つの課の事業を集めている点が現状であり、一貫した内部評価を困難にしているのではないかと思います。この点について、計画の進捗管理の体制や工夫について検討を求めたい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・基本事業②「育ち支援」に関して、市独自の「不妊治療費助成」「医療費助成」については、進捗を測る独立の指標の設定が必要である。こどもの「居場所の確保」についても同様。			
・子育て家庭の多様なニーズを継続的に把握し、利用しやすい支援制度となるよう周知方法や相談体制の充実に努めてほしい。			
・事業の成果が市民に分かりやすく伝わるよう、情報発信の工夫にも期待したい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-2	人権・平和	所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	あらゆる差別が解消され、お互いの人権が尊重される		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	人権啓発		市民の人権意識を高め、お互いが尊重される「人権文化都市」の構築をめざします
基本事業	非核平和		平和の尊さや戦争の悲惨さを自分事として感じる機会を提供し、非核平和に関する意識の醸成を図ります
基本事業	男女共同参画		性別に関わらず、誰もがあらゆる場で活躍できる社会の実現をめざします
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	人権講演会の参加者を対象としたアンケート結果による評価のみでは、現在課題となっている保護者層や、これまで啓発が行き届きにくい年代層への啓発のための施策の進捗をはかることは困難であり、別の指標が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	啓発に留まらず、実態としての変化につながるような取組を進めてほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・基本事業②「非核平和」の指標であるアンケート調査の実施時期については、確実な見直しと実施を図ってほしい。 ・市民の意識向上を具体的な行動や社会参加につなげるため、継続した啓発と取組の充実が必要である。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
参加状況や満足度といった指標に加え、市民全体への関心の広がりや、意識の定着をどのように把握するかも検討が必要である。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・基本事業①「人権啓発」について、PLANに記載のある「相談しやすい体制づくり」や相談支援における「関係機関との連携」に関して、現状、これに対応する事務事業(DO)が存在しないのではないかと。そうであれば、PLANやDOのレベルでの見直し、改善が必要となる。			
・「配慮」から「多様な参加と活躍」へポジティブに捉えた内容にしてほしい。			
・トラブルが起こった際、人権問題として取り上げられる前の段階から人権に対する取組が必要である。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-3 同和		所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	一人ひとりが部落差別と向き合い、差別が解消されている		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	同和	社会全体から部落差別をなくし、隣保館・児童館機能を充実させます	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の 適正性	A	適切である	
(2)事務事業 改善案の 妥当性	A	適切である	
(3)施策の 進捗状況	A	良い(順調)	
3. 意見及び提案			
内部評価への指摘事項			
様々な取組を実施していることが、ヒアリングを通して理解できた。			
施策や事業に対する意見・アドバイス等			
部落差別の解消には継続的な啓発と教育が不可欠である。相談しやすい環境づくりを維持するとともに、学校・地域・関係期間が連携し、幅広い世代への人権教育や啓発活動を継続することで、差別のない地域社会づくりを目指してほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-4	学校教育	所管部局
			教育委員会
めざす姿	こどもたちが、未来に夢や希望を持つことができる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	学校教育		確かな学力の保障、人権・同和教育の充実、キャリア教育の推進を3本柱にこどもたちの進路保障に取り組むとともに一人ひとりのニーズに合った支援を行います
基本事業	教育環境		個別・最適に学べる教育環境づくりを進めます 学校施設長寿命化計画に基づき、長寿命化の視点に立った施設整備を計画的に行います
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	めざす姿に対する行政の取組が明確になっていない。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	効果検証から事務事業改善案が読み取りにくい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・社会が大きく変化する中で、重要な取組も大きく変化するが、その対応が書かれていない。 ・学力向上についての成果指標のあり方について考えてほしい。
3. 意見及び提案			
■ 内部評価への指摘事項			
・特別な支援について、検証を続ける中で新たなニーズが出てくるが、こどもたちに何か変容があれば書いてほしい。到達点はないと考えるが、新たなニーズも含め、支援の充実が図られることを望む。 ・基本事業①「学校教育」の効果検証が実施内容の説明になっている。 ・教職員の人材育成が大きな課題となっているため、更に突っ込んだ評価と具体策、進捗を示してほしい。 ・基本事業①「学校教育」について、問題の所在は「教職経験の浅さ」ではないと考える。教育委員会等が分析した成果を教職員に共有し、一緒に授業改善に取り組むことを書く必要がある。 ・基本事業②「教育環境」に課題が書かれていないため、事務事業改善案は不要ではないか。			
■ 施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・公式を覚えるだけではなく、応用力が必要である。教え方について分析した方がよい。 ・人口減少による学校の小規模化による様々な課題(例:学習・行政の運営・地域コミュニティへの影響や合意形成等)についての対応、人材育成については、外部との連携が重要である。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-5 生涯学習		所管部局
			教育委員会
めざす姿	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍することができる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	社会教育	学びを通じた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の実現に向けた取組を進め、ネットワークの構築に繋がります	
基本事業	青少年健全育成	心豊かで思いやりのある青少年の育成を推進します	
基本事業	図書館	図書館が「学び・創造・憩いの広場」となるよう、図書館機能の拡大とサービスの充実に努め、利用者数の増加を図ります	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	「～しました」「～行いました」という記載があるが、どのように変容したのかという効果を書いてほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	「計画どおり進めます。」でよいか考える必要がある。具体的に何を改善するのが読み取れない。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	全ての基本事業で「計画どおり」進めるのでは、めざす姿を追求することはできないのではないかな。
3. 意見及び提案			
■ 内部評価への指摘事項			
・全体的に課題は無く、計画どおりに完了していると読み取れてしまう。 ・市の取組だけでなく、市民が内発的に何かすることを想起させる記載がない。次の総合計画ではどういうふうに住民自治、市民活動につなげるか、ACTIONで取組を記載してほしい。 ・効果検証が不十分で各計画の課題や改善案が書けていない。			
■ 施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・行きたくなる学校図書室の工夫について課題として捉え、ACTIONにつなげてほしい。 ・図書館が地域や文化の拠点となり、居場所や交流の場にもなることを望む。 ・人口減少が進む中で、生涯学習は「地域をどう支えるか」という視点がとても重要である。生涯学習に取り組む市民の高齢化、一部の市民等、参加者が偏っていることへの対応も今後必要になってくると考える。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-6	文化・芸術	所管部局
			地域力創造部
めざす姿	文化の力で「ひと」と「まち」を育む		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	文化・芸術		文化芸術に親しみ、豊かな感性を育みます
基本事業	芭蕉翁顕彰		芭蕉翁の功績を称え遺徳を偲び、俳諧や俳句文化の普及啓発を行います
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	「文化・芸術」の分野では、もともと関心を持っていた市民だけでなく、より広い市民へアウトリーチすることが求められるが、その点についても評価が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	C	見直しの必要あり	課題がないと考えていないか。改善案がないことは残念である。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	めざす姿の「ひと」と「まち」がどれくらい育まれたかが分からない。危機感がないように感じる。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・事業レベルのアウトプット評価になっている。アウトカム評価は「めざす姿」である「文化の力で「ひと」と「まち」を育む」がどの程度実現できたかである。その点での評価が必要である。 ・計画どおり進めているにもかかわらず、実績値が減少していることについて、文化振興プラン後期策定の中で検証されているかと思う。 ・総合計画にも記載されている施設の老朽化など、抽出された課題やそれに対する改善策を記載する必要がある。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・施策評価シートだけ見ていると、結果が出ていないのに計画を変更しないと読み取れてしまうため、実際に工夫して改善したことがあっても評価されなくなる。 ・各地区市民センターを文化拠点をする。 ・産業、教育、福祉、観光との連携による文化振興の実現できる具体策の提案が必要である。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-7	歴史・文化遺産	所管部局
			教育委員会
めざす姿	歴史や文化遺産を未来へと引き継ぐ		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	文化財・歴史資料		国民共有の財産である文化財や歴史資料を調査し保存するとともに、地域の資産として活用することで、シビックプライドの醸成、交流人口の促進につなげます
基本事業	歴史まちづくり		歴史的資産により、まちに付加価値を与え、歴史的資産を継承すると同時に市の魅力向上に寄与します
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	文化財の所有者、歴史に関心のある市民へは浸透していると思われるが、より広い市民へのアウトリーチが必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	より広い市民へのアウトリーチについては課題が残っている。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	多くの市民が歴史や文化財を大切に思い、歴史まちづくりへと展開するには、まだ実施すべきことがある。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・より広い市民の支援があれば、寄附も集まり、税の投入にもつながる。また、まちづくりへの展開もできる。こうした点の評価も必要。 ・市民の心からの「自分たちで守っていこう」という活力を生み出す仕組みを求める。 ・資金調達だけでなく、継承者の確保についての改善案が不足している。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・基本事業②「歴史まちづくり」はソフト面の課題があるため指標変更したとのことだが、何を課題と抽出したのかが不明であり、それに繋がる改善案も読み取れない。 ・歴史文化遺産がどう活用され、どうまちづくりに、観光の魅力に寄与しているのかということを主眼に置いてほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-8	住民自治・市民活動	所管部局
			地域連携部
めざす姿	住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われている		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	住民自治		地域の活力を維持し、自主自立した魅力ある地域づくりを進めます
基本事業	市民活動		市民公益活動の活性化に向けた支援を行います
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	住民自治活動や市民活動の活動量を測るアウトプット指標や、活動によってどれだけ活性化しているかを測るアウトカム指標を検討してほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	住民自治のあり方検討委員会を設置し、専門的知見から支援の在り方等を検討することは重要だが、課題の抽出や改善案の提示を外部有識者に任せきりになっていることが読み取れるため、行政として、すぐにでも取組可能な改善案の提案を求めたい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	住民自治のあり方検討や地区市民センターの取組は着実に進んでいる一方で、市民活動への参加や団体同士の連携はまだ発展の余地があるため、引き続き支援を進めてほしい。
3. 意見及び提案			
■ 内部評価への指摘事項			
・基本事業①「住民自治」、②「市民活動」ともに、効果検証で「進めました。」「取組みました。」とされているが、検証であるため、もう少し具体的に記載し、あわせて、取り組んだ(進めた)結果も記載されると良い。また、「新たな課題」の記載が無いが、地域によっては高齢化や転居・転出などで担い手不足などの問題はないか。 ・課題抽出が的確である分、それに対する改善アクションがやや抽象的になっている印象を受ける。現場が動きやすくなるような具体的なプランの策定を望む。 ・数値だけでは成果が見えにくい分野であるとする。参加人数や相談件数だけでなく、活動が継続しているか、新しい参加者が増えているかといったことも評価に取り入れると、取組の成果がより分かりやすくなると思う。			
■ 施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・住民自治協議会が施設管理に留まらず、地域経済とも連動したコミュニティビジネスに取り組めるよう、他部署と連携した柔軟なサポート体制をご検討してほしい。住民が主体的に地域課題を解決できるような、実践的な支援を期待する。 ・若い世代や子育て世代など、これまで参加が少なかった人にも活動を知ってもらえるよう、SNSなどを活用した情報発信や、気軽に参加できる交流の機会を増やされると良い。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野3. ひとをはぐくむ

1. 対象施策の基本情報			
施 策	3-9 多文化共生		所管部局
			人権生活環境部
めざす姿	国籍や文化の違いを認め共生する		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	多文化共生	外国人住民が日本人住民と「ともに」地域を支える担い手となります	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「多文化共生」において「新たな課題」が日本人住民に向けた情報発信の不足にあることからすると、現在のKPIに加えて、日本人住民や地域に向けた施策の成果を測るための新たなKPIの設定が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	外国人住民に対する取組と日本人住民や地域に向けた施策を一括せず、それぞれ別にし、事務事業案の改善案を検討し、ACTION欄に明記してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	基本事業の進捗が「△やや遅れている」としているため、今後、さらに多文化共生について取り組んでほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
アンケート結果の低下傾向を真摯に受け止め、現状の取組が実生活のニーズに合っているか、より柔軟な視点で見直しを期待している。			
外国人住民への支援や多文化共生に向けた取組が確実に進められている。今後も地域や関係団体と連携しながら、多様な人が暮らしやすいまちづくりを進めてほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・外国人住民が安心して暮らせるよう、多言語の情報発信や相談体制の充実に加え、地域住民との交流機会を増やし、住民自治協議会等への参加など、相互理解を深める取組を継続してほしい。			
・外国人住民を地域の重要な担い手として捉え、商工関連部署や自治会支援の部署と連携し、就労サポートや地域活動への参加を促すアプローチを取り入れてみてはどうか。言葉の壁を越えた、実生活に根ざした共生の仕組みづくりを期待する。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-1	地域経済	所管部局
			産業農林部／総務部
めざす姿	地域で循環する経済をつくる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	産業振興		地域内で循環する経済を作ります
基本事業	公共調達のあり方		働く人や地元事業者を豊かにするとともに、地域経済の活性化を図ります
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	施策が地域内経済循環にどの程度結びついているかについて、より具体的な検証が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「産業振興」（仮称）産業振興アクションプランの策定について、事務事業改善案で「現状の整理を行います。」「市内事業者等の実情を調査します。」とあるが、いつまでに終え、その後どのように進めていくのか記載した方が良い。また、（仮称）産業振興アクションプランの概要についての説明があると理解しやすい。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	地域経済循環の根幹に関わる部分であるため、担当部署だけでなく庁内全体で協力し、早期の策定と実行に向けた後押しを望む。
3. 意見及び提案			
■ 内部評価への指摘事項			
・施策4－1「地域経済」は、個々の事務事業とそれを束ねる基本事業というより、地域経済の活性化のための基本的な理念や仕組みを確率・整備するための施策としての性格を持つものであり、外部評価になじむものか検討が必要である。 ・基本事業①「産業振興」の成果指標について、まちづくりアンケートでは「参画度」を問わない形式へ変更されたため、KPIの早急な再設定が必要である。 ・スケジュールの遅延については、外部要因だけでなく推進体制の課題等も含めて検証し、遅れをどうリカバーしていくかという前向きな改善案の提示を望む。 ・計画および条例の策定には多様な主体の参画を得て進めることが求められる。そのための取組や工夫をACTION欄に明記してほしい。			
■ 施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・空き店舗対策や空き家バンク、立地適正化などの施策をパッケージ化し、起業家や事業者にとって分かりやすいワンストップの支援体制を整えることで、より実効性が高まると考える。 ・組織の垣根を越えた柔軟な連携を望む。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-2 農業・林業		所管部局
			産業農林部
めざす姿	人と自然が共生し、農林業を元気にする		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	農業		持続可能な地域農業の維持発展に取り組みます
基本事業	農村整備		農地及び農村資源(農道・水路等)保全のための共同活動を支援します
基本事業	森林環境		森林環境を整え、災害に強い森林づくり、魅力ある地域の山づくりを推進します
基本事業	森林資源		森林資源を有効活用し、山の魅力発信、木材の利用推進を行います
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	効果検証については、事業内容ではなく、成果や課題が読み取れる評価をすべき。農業については、課題を絞り込む必要がある。(持続可能な農業のため、儲かること、担い手が増加すること、既存資源の活用など、整理して成果や課題を捉える必要がある)
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	農業については、本質的な課題を絞り込み、それに対応した方策を記述すべき。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・事業についての一定の成果は認められるが、計画と比べると農業の成果指標の進展度が悪い。 ・持続可能な農林業についてはまだまだ課題があり、今後順調に進めてほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・事業の体系やストーリーを整理して評価すればやりやすくなる。 ・ふるさと納税の返礼品の件数を成果指標としてやっていくのは厳しい。 ・林業のめざす方向性が見えにくい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・成功事例の横展開や既存の地域資源との連携などを重視すべき。ブランディングや農業者同士の繋がりづくりを市が担う。 ・集落単位の共同活動についても具体的な改善案を起こせるように思う。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-3 都市拠点		所管部局
			産業農林部／建設部
めざす姿	持続可能で魅力あふれる拠点をつくる		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	市街地の活性化		便利で住みよいまちづくり
基本事業	都市機能の集約		地域主導の攻め(価値向上)と守り(生活維持・向上)の取組
基本事業	にぎわい忍者回廊		伊賀らしい歴史文化資源を活用した集客促進
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「市街地の活性化」効果検証の新たな課題で「人口減少、空き家、空き店舗の増加が続いています…」とあるが、2-10「空き家」(建設部)とは連携、情報共有して取り組まれているか。取り組まれているのであれば効果検証で記載されると良い。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「市街地の活性化」③「にぎわい忍者回廊」は特定の事務事業に特化した改善案が明記されているため、基本事業全体にわたる見直しと改善案を記載してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	にぎわいの創出や地域資源の利用について、より具体的な施策を展開し、さらなる取組の充実を図ってほしい。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・効果検証の新たな課題で「中心市街地全体への回遊につながっていない。・・・立ち寄りたくなる城下町を目指す必要がある。」とあるが、事務事業改善案には新たな課題に対する改善策の記載が無い。 ・令和9年度に基本計画の策定とあるが、今後どのように進めるのか内容が不明なため、計画内容(例)を記載していただけると理解できる。 ・見えてきた課題(回遊性向上など)に対し、少しでも早く「面」での賑わいを生み出せるよう、実行フェーズへのスピーディーな移行を期待する。 ・整備状況や事業の進捗は分かりやすく整理されているが、施設がどのように利用され、地域のにぎわいや利便性の向上につながっているかについても、継続的に確認できると施策の成果がより分かりやすくなる。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・まちなかの回遊性向上に向けて、歩行空間の安全確保(防犯・交通)や多言語での観光案内(多文化共生)など、ハード・ソフト両面から関連部署が協力し合う枠組みをご検討してほしい。現場のニーズに即した、あたたかみのある賑わい創出を期待する。 ・伊賀らしい歴史・文化資源を生かした魅力あるまちづくりを進めるとともに、若い世代や観光客が再度訪れたくなるイベントや情報発信を充実させ、中心市街地のにぎわいにつなげてほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-4	商工・労働	所管部局
			産業農林部
めざす姿	地域の特性を活かし、商工業活動を盛んにする		
基本事業	基本事業キーワード		基本事業のめざす姿
基本事業	商工業	商工業や地場産業の振興、後継者育成、事業者の意欲高揚を図ります	
基本事業	企業立地	雇用確保及び税収確保のため、産業用地の創出並びに市域全体への企業誘致を進めています	
基本事業	起業、雇用・労働	起業を支援し、地域経済の活性化を図るとともに、誰もが意欲と能力に応じて働くことができる労働環境づくりを促進します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	ふるさと納税や起業促進など、伊賀市の魅力をどのようにPRできているのか、情報が伝わっているのかについての効果検証が読み取れない。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	こういったデータから、どのような分析をし、どう施策に結び着いているかが見えないため十分な評価ができない。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	方向性は合っているため、具体的な取組が必要である。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・万博といったイベントでは意識調査でも効果が測れるため、めざす姿を追求するための効果検証としては、他の取組と紐づけて評価してほしい。 ・コンテンツの開発に関する指標も検討してほしい。 ・「努める」といった表現だけでなく、具体的な内容まで書いてほしい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・起業に関して、創業スクールを経たから1年以内に廃業するケースがみられるため、創業スクールでの取組の改善を検討してほしい。 ・市民にとっては当たり前だと思っていることも他所から見たら当たり前ではない。外からの視点も含め、連携して取組を進めてほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-5 観光		所管部局
			産業農林部
めざす姿	観光客と地域住民が共に地域の資源に魅力を感じ、大切にしている		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	観光誘客・情報発信	進行する人口減少や少子高齢化による経済の減少を観光交流人口の増加によって経済を活性化させ、補います	
基本事業	観光客の受け入れ	地域に根付く魅力ある資源を面的に捉え、活用することで地域に関心を持つ関係人口を増加させ、文化の継承や保全につなげるとともに、にぎわいを創出します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	・課題は認識されているが、改善案に具体性がない。 ・取組について、対面での説明では理解できたが、施策評価シートに記載されていない。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	市としての戦略に基づき改善案を示してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	客観的な視点やデータに基づいて取り組むなど、もう少し改善の余地がある。
3. 意見及び提案			
内部評価への指摘事項			
「計画どおり進めます」ではなく、より具体的な取組について分かりやすく記載する必要がある。			
施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・既存の枠組みの中で議論を進めるのではなく、民泊の経営者等とも情報を共有するなど、連携して協議することが重要であるとする。 ・誘客プロモーションや情報発信の際には人権侵害等への対策などを含めて取り組んでほしい。 ・観光客だけでなく、伊賀市の人も伊賀市の魅力を感じることができるよう取り組んでほしい。			

(2)分野ごとの外部評価結果

分野4. にぎわいをつくる

1. 対象施策の基本情報			
施 策	4-6 関係人口		所管部局
			地域力創造部
めざす姿	若者や移住者に選ばれる		
基本事業	基本事業キーワード	基本事業のめざす姿	
基本事業	地域創生	若者の定住意識を高め、関係人口とともに地域課題を解決します	
基本事業	移住	伊賀市への移住を促進します	
2. 外部評価結果			
評価のポイント	評価		理由
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	移住促進により関係人口が増加した結果、人口増につながった等の評価が欲しい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	本当に施策内容・事業内容に改善の余地はないのか。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	関係人口を増やす取組、若者の関心を高める取組にはまだ創意工夫の余地がある。
3. 意見及び提案			
■内部評価への指摘事項			
・基本事業①「地域創生」の効果検証(CHECK)で、「新たな課題」の若者会議の第5期の活動が予定どおりならば課題ではないため削除した方が良い。 ・「関係人口」と「移住」の違い、両者のつながりを意識した評価が欲しい。関係人口は移住・定住しないままで伊賀市との関係を深く持ってくれている人であり、そうした人が増えたか、また関係が深化した結果、移住へとつながったか等を評価して欲しい。			
■施策や事業に対する意見・アドバイス等			
・実績値から、高い成果が出ていて素晴らしいと感じたが、まちづくりアンケートの結果を見ると、市民の満足度は最下位である。この結果を今後の取組にどのように反映するのか、分析しても結果的に課題が無かったのであれば、効果検証の部分に地元住民がどのように関わり、どのような結果が出たのかという部分を書いて欲しい。 ・関係人口は移住者だけのものという認識が市民に浸透していないか。 ・ふるさと住民登録制度の観点から取組を検討してほしい。			

5. おわりに

当審議会は、2025（令和7）年9月に策定された「第3次伊賀市総合計画」について、外部評価を実施いたしました。

本評価は、各施策における基本事業の課題と改善策、並びに進捗状況を中心に検証を行ったものです。

外部評価に携わった当審査会の委員からは、全体として施策シートの完成度が高く、各担当部局において着実に取組が推進されているとの意見も聞かれました。

その上で、総合計画のより一層の改善と実効性の向上に資するため、外部評価結果について以下のとおり意見を申し述べます。

計画初年度となる今回の外部評価は、特に現在設定されている成果指標の適正性に着目しました。その結果、一部の事業において、指標が事業の実施量を示す「アウトプット評価」に留まっている事例が見受けられました。それらについては、市民にもたらされる成果をよりの確に把握するため、指標の再設定やサブ指標の設定など、成果指標の見直しを検討されるよう求めます。

また、基本事業の実施にあたっては、各施策が掲げる「めざす姿」こそが事業の目標であることを全部局で再認識することが肝要です。そして、その評価シートには、単に実施事項を網羅的に記述するのではなく、特筆すべき成果や、「めざす姿」の実現を阻む本質的な課題に焦点を絞って記載することが重要です。これらを踏まえた総合計画の進行管理を求めます。

結びに、本外部評価が総合計画の進行管理において重要な役割を担うものであるとの認識のもと、市におかれましては、本報告書に示された評価結果を真摯に受け止め、施策を着実に推進するための仕組みに有効活用されることを強く期待いたします。